

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 松山空港事務所新庁舎・管制塔新築工事

開 札 年 月 日 令和8年7月10日 （落札決定日 令和8年8月21日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 1,647,800,000 -

落 札 者 株式会社奥村組

予 定 価 格 ￥ 2,057,000,000 -

積 算 額 ￥ 2,057,000,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 1,870,000,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 1,892,440,000 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 1,720,400,000 -

基 準 評 価 値 5.347

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評 価 点 (満点174点)	第 1 回入札			第 2 回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
株式会社奥村組	134.0	1,498,000,000	8.945	○				落札
大成建設株式会社	138.0	1,658,000,000	8.323	○				
共立建設株式会社	118.0	1,540,000,000	7.662	○				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※ 本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和8年8月21日に落札者を決定した。

総合評価落札方式評価点内訳(技術提案評価型S型・施工体制確認型)

件 名：松山空港事務所新庁舎・管制塔新築工事

[illegible]

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：松山空港事務所新庁舎・管制塔新築工事

発 注 機 関 名：大阪航空局

調 査 対 象 業 者：株式会社奥村組

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	直接工事費については、近年の松山空港関連工事で経験と実績を蓄積した企業を中心に十分な取引実績がある協力業者から見積徴収を行い精査した上で、入札価格を決定している。 また、共通仮設費および現場管理費については、当該工事にて必要となる経費を十分に計上している。一般管理費については、過去の実績から事業経営に必要な経費を適正に計上している。
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	配置を予定している現場代理人及び監理技術者は共に、一級建築施工管理技士及び監理技術者の資格を有しており、現場代理人においては、松山空港内の施工実績を有していることをヒアリングにより確認した。また、手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、技術者は専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している現場代理人及び監理技術者は共に、一級建築施工管理技士及び監理技術者の資格を有しており、現場代理人においては、松山空港内の施工実績を有していることをヒアリングにより確認した。また、手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、技術者は専任で配置することとしていることから、適正であると思料される。

(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	調査対象者の営業所は工事現場から6.6km（所要時間：約15分）の距離に位置しており、緊急時には職員が現場へ急行し対応することを、ヒアリングにより確認した。
(5) 手持資材の状況	なし。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入については、長年取引のある協力業者より調達することを確認した。
(7) 手持機械数の状況	本工事で使用する手持ち機材はなく、必要な仮設、機材、重機については、長年取引実績のある協力業者から調達することを確認した。
(8) 労務者の具体的供給見通し	工種ごとに協力業者の労務者を確保し、適切に配置する予定であることを確認した。

(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	過去に施工した公共工事を確認したところ、過去5年間（令和3年4月1日以降に完成・引渡しが完了した工事）において、国発注工事13件、公共法人等の発注工事25件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評定点の平均点は76.0点、公共法人等発注工事の工事成績評定点の平均は79.8点（工事成績評定点が通知されているもの）であったため、概ね適切な施工が行われているものと思料される。 ただし、九州支店の実績において、工事成績評定点が51点の工事が1件あったため、発注者に確認したところ、鉄骨工事アンカーボルトの施工において品質に問題があり、建物の供用開始に遅れが生じたとのことであった。工事については再発防止策が示され、その後の施工は問題なく完了していることを確認した。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が2件あったが、発注者へのヒアリングにより、特に問題なく施工が完了していることが確認できた。 なお、四国支店の実績については、3件の施工実績があり、工事成績評定点の平均は75.0点（工事成績評定点が通知されているもの）となっていることから、概ね適切な施工が行われているものと思料される。
(10) 経営内容	調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討	以上の調査事項について確認した結果、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について1件不適切な施工があったものの、再発防止策が示され工事が完了していること、今回の工事においては過去の事案もふまえて適切に管理を行うとしていることから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
(12) (9)の公共工事の成績状況	過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。

(13) 経営状況		問題なし。
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項		無